

在鸣门 第154期

一年の計は春にあり
一年之计在于春



渦の道は、大鳴門橋の橋桁に作られた渦潮を鑑賞する遊歩道です。歩道全長 450m、海面より 45m の高さです。歩道内で、透明なガラス床を通して渦潮の変化を見られます。鳴門海峡の景色や橋の構造も鑑賞することができます。

3月2日、歩道前方の展望室で阿波おどりが行われました。当日、阿波おどりが2回あり、各回約30分です。パフォーマンスしてくれるのは徳島県の有名連です。

橋の上の往来する車輛、鳴り物の響き、美しい阿波おどり、ガラス床から見た海、スリル感のある面白い体験ができました。



“渦之道”，是建造在大鸣门桥桥桁内的海上瞭望漩涡的游览步道。步道全长 450 米，距离海面 45 米高。行走于步道之上，可以透过嵌在步道上的玻璃地板观赏漩涡激流的变化，也可瞭望鸣门海峡美景，还可欣赏桥梁构造。

3月2日，在位于步道最前方的展望室内举行了阿波舞表演。当日，共两场阿波舞表演，每场约30分钟。表演队伍为德岛县内的著名舞队。

头上桥面车辆穿梭，步道上舞者应和着伴奏欢快跳跃，脚下激流涌动，置身其中，感受震动，感受刺激，妙趣无穷。



舞台は後ろの橋にある
舞台就在身后的大桥之中





鳴門海峡は、月と太陽の引力の作用と、海底のV字型の地形等の影響で、最大1.5mに達する潮汐の干満差による渦潮が生まれます。上述した「渦の道」の他、観光客は観潮船に乗って海上の渦潮を鑑賞することもできます。春・秋は潮流が一番勢力があり、「春秋の大潮」と呼ばれています。その時、特別なお祝いのイベントが開催されます。

3月2日、最初の観潮船が出航する前、「渦開き」のイベントが開催され、海上安全を祈りました。年中に切迫力のある渦をお客さんに見せることができるように、大型観潮船の上では、鳴門市と南あわじ市の観光大使が合同で、渦への「黄金の鍵」の投げ入れ儀式も行われました。また、鳴門市のキャラクター達も登場し、会場を盛り上げてくれました。



在月球和太阳的引力作用下，鸣门海峡潮涨潮落，加之海底的深V字狭窄地形等因素，潮水落差最高可达1.5米，激流涌动，从而产生巨大的漩涡。除了上述“涡之道”之外，游客还可乘坐观潮船前往海上观看漩涡。春秋时节，潮水最为汹涌，被称作“春秋大潮”，此时可以看到最壮观的漩涡。因此，春季会举办特别的庆祝活动。

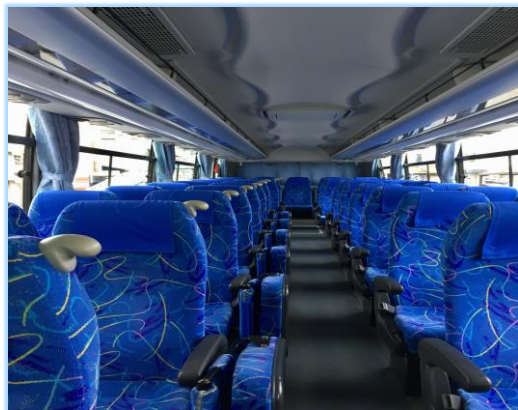
3月2日，在首批观潮船出港之前，举行了名为“涡開”的祈福仪式，祈祷海上安全。在大型观潮船上，分别来自鸣门市和南淡路市的两位观光大使共同将巨型“黄金钥匙”投入漩涡之中，寓意开启漩涡之门，祈祷一年之内游客都能观赏到迫力无穷的漩涡。鸣门市的吉祥物们也参与到了活动之中，现场其乐融融。





3月3日、徳島 VORTIS の2019 シーズンのホーム開幕戦が開催されました。対戦相手は FC 岐阜です。鳴門市にある大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアムは、8000 人近くの観客が集まりました。両チームは勢力伯仲、後半ロスタイムまで両方ともゴールになりませんでした。ようやく、ロスタイムの最後の最後に、徳島 VORTIS の清武功暉選手のボレーシュートで勝利を掴み取りました。劇的勝利はスタンドを沸騰させ、サポーターの皆さんは欣喜雀躍でした。

皆さん、徳島 VORTIS のホーム戦の時、JR 鳴門駅からスタジアムまで無料シャトルバスがあります。観光のついでに、是非スタジアムまで鳴門市のサッカー情熱も感じてみてくださいね。



3月3日、“徳島 VORTIS” 足球队の2019 新赛季主场赛首战打响, 对战“FC 岐阜” 足球队。位于鸣门市的大塚体育公园宝矿力水特体育场内, 近 8000 名球迷前来观战。两队势均力敌, 互不相让, 常规比赛时间内, 双方虽多次射门但均未进球。终于, 在下半场加时赛的最后时刻, 徳島 VORTIS 球队清武功暉球员一脚凌空抽射, 球破门而入, 徳島 VORTIS 球队赢得胜利! 戏剧性胜利, 让整个看台热血沸腾, 球迷们激动不已, 大家互相击掌庆贺, 欢呼雀跃!

在徳島 VORTIS 球队的主场比赛日, 会开通免费接送大巴往返于 JR 鸣门站和球场之间。朋友们, 观光之余, 欢迎您前来球场感受鸣门市的足球热情!



中国語には「一年の計は春にある」という諺があります。良いスタートをもって新たな成果を得るように、活気に満ち溢れている春に、しっかり頑張っていきましょう。

俗语说“一年之计在于春”，让我们在生意盎然的春季努力耕耘，以良好的开端迎接新的收获！

部门：鳴門市観光振興課

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

編輯： 翟 羽佳